

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	ボランティアガイド人材育成事業		事業開始年度	平成20年度	作成責任者	
担当部局庁	観光庁		担当課室	観光地域振興部観光資源課	課長 和田 浩一	
会計区分	一般会計		上位政策	観光立国の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	観光立国推進基本法第16条		関係する計 画、通知等	観光立国推進基本計画		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	ボランティアガイドの活動を支援しその裾野を拡大することにより、国内観光の振興を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	ボランティアガイドの活動を支援するため、①ボランティアガイド組織、観光地域づくり団体、地方公共団体等の関係者の情報交換・意見交換の実施②児童・生徒によるボランティアの育成における課題の整理と解決策の検討のためのモデル事業の実施③シンポジウムの開催やモデル事業の実施から得られた知見を蓄積・体系化させ、ボランティアガイドの普及促進を図るため「指導者向け」及び「児童・生徒向け」手引き書の作成、を行う。					
実施状況	①ボランティアガイドの育成等に関わる関係者の情報交換・意見交換の機会として、平成20年6月及び平成21年6月にシンポジウムを開催した。②平成20年度4地域、平成21年度16地域において「児童・生徒によるボランティアガイド普及のためのモデル事業」を実施した。③平成22年3月、「指導者向け」及び「児童・生徒向け」手引き書を作成した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	3	2	11	20
	執行額	—	5	5		
	執行率 *	—	166.7%	250.0%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	—		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	支出先については、観光庁が企画競争を実施し、民間業者、公益法人の選定を行っている。 観光庁において、自ら直接契約している相手方から報告書を提出させることにより事業実施内容を把握している。				
	見直しの 余地	国土交通省公正入札調査会議における指摘等も踏まえ、契約情報について事前公示等を含めた周知期間を十分に置く等の改善を図っている。今後とも効率的・効果的な予算の執行に向けて改善を図っていくこととしている。				
予算 チーム 監視の 所見 効率化	【一部改善】 予算執行効率化の観点から調達手法の改善(競争入札の導入、一社応札の抑制の取組等)を図るべき。					
補 記	※平成21年度事業仕分け評価結果 「訪日外国人3000万人プログラム第1期事業: 予算要求の縮減(半額を縮減)」					
	【予算科目】 組織 観光庁 222 観光振興費 95 観光振興に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) 95016-2123-09 観光振興調査費 2百万円 5百万円					
* 平成20年度における実施状況等を踏まえ、ボランティアガイドの普及促進を図るための「指導者向け」及び「児童・生徒向け」手引き書を作成するため、他事業の契約差金等を活用して実施額を増額の上実施した。						

国土交通省
5百万円

・シンポジウムの主催
・全体方針の策定



【企画競争・請負】

A. (財)日本交通公社
5百万円

・シンポジウム開催
・モデル事業の実施
・手引き書の作成・印刷

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(財)日本交通公社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事務局・庶務・管理部門報告書 (資料作成費、報告書作成費)	2			
	研究員	1			
その他	シンポジウムの企画開催経費(謝金、旅費、管理費、消費税)	1			
その他	モデル地域活動費用	1			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者
 について記載
 する。使途と費
 目の双方で実
 情が分かるよ
 うに記載)